

翻 訳

描画法ワークブック

Workbook

翻訳者 大辻隆夫* 塩川真理** 松葉健太郎***

原典：Lynne Cantlay, Ph.D. (1996) Detecting Child Abuse : Recognizing Children at Risk through Drawings, pp61-102. Holly Press, Santa Barbara, CA

【解 説】

この翻訳は、Lynne Cantlay, Ph. D. Detecting Child Abuse : Recognizing Children at Risk through Drawings, Holly Press, Santa Barbara, CA(1996) Chapter 5 Workbook の抄訳である。本書については、これまでに「描画分析技法」(児童学研究第31号, 2001) および「描画の発達の理解」(児童学研究第33号, 2003)を訳出し、紹介している。目下、この翻訳も含めた本書の翻訳出版を予定しており、すでに原著者 Cantlay の快諾を得て準備中である。

原著者は、現在、Anapamu Counseling Center, Santa Barbara, CAの所長として児童・成人の心理療法に従事する一方、Supervisorとして後進の指導や講演に多忙な毎日を送っている。

彼女の遊戯療法のメインツールは Drawing, Sandtray, そして Collage であるが、オフィスには多種多様の Drawing 用紙や筆記用具が用意されており、また掲載の写真にあるように Sandtray 用の玩具についてもきわめて豊富に備えられていたのが印象的である。

彼女は臨床家としておよそ50年のキャリアを持っているが、上に述べたことから、また自由でおおらかでアットホームな発想のもとに被

虐待児の遊戯療法に取り組んでいる姿からも、その臨床家としてのスタンスは至って柔軟性に富んでいるといえるだろう。それが、Fromm,E. に教育分析を受けたことによるのか、元来の性格からなのか、あるいは困難な子どもたちへの長年の援助活動経験から培われたものなのか、彼女の臨床家としての資質を解明する上で興味深いところである。

さて、彼女の臨床業務のなかでも大きな位置を占めるのが、虐待を受けた子どもに関する査定および治療経過の裁判所への報告である。本書に報告されている事例もその業務のなかで出会った子どもたちとのプロセスの一端を示すものである。

原著は、1章：序論 (Introduction), 2章：描画の発達の理解 (Developmental Aspects of Drawings), 3章：描画分析技法 (Analyzing Drawings), 4章：描画指標分析 (Characteristics), 5章：描画法ワークブック (Workbook), 6章：結論 (Conclusion), の6章およ



原著者 Dr. Cantlay と 訳者 大辻 (Anapamu Counseling Center にて；同僚の Dr. Marlana, R. 撮影, 2003年 8月)

* 京都女子大学家政学部助教授 (児童教育学)
Takao Otsuji

** 大阪府教育委員会教育事務所子どもサポートグループSC
Mari Shiokawa

*** 奈良県立高円高等学校
Kentaro Matsuba

び付録で構成されている。今回訳出した5章：描画法ワークブックには、トラウマ指標一覧表と並んで他書に見られない本書の特徴の一つである、読者のための練習課題が豊富に設定されている。

たとえば、このワークブックでは、練習過程は三段階に構成されており、まず第一段階で引きこもりの7歳女児の3ヶ月間にわたるシリーズ描画6枚が順番に提示され、原著者の指標分析がなされる。次いで第二段階では5人の被虐待女児の描画が提示され、各描画に対して同じく原著者の全体印象・指標分析・トラウマの解説が示される。最後に、第三段階として読者のための練習課題が設定され、15枚の描画分析練習用の課題描画が提示される。

読者は、これらの描画を、原著者が設定する4つの分析ステップ（①第一印象の記録、②指標分析、③描画分析チェックリストによる確認、④原著者の解答との照合）に沿って実際に分析作業をおこない、読者自身の描画分析感覚のオリジナリティを損なうことなく、妥当性のある描画分析技法の体系を体験学習できるようになっている。

本書は子どもたちへの虐待をいち早く発見するためのツールとして描画が以前にも増して有用であることをあらためて認識させてくれるものであるが、このワークブックの章ではとくに、描画療法や描画査定をおこなう臨床心理学者やサイコセラピスト等の臨床家のみならず、親・教師・保育士や幼稚園教諭等、子どもの介護業務に携わる人たちがその査定技術をマスターできるように工夫がなされている。

原著者Cantlayは、訳者とのディスカッションのなかで、何よりも描画を見たときのTherapistやCaregiver自身の第一印象を大切にすること、また描画のみならず、描き手である描画者を共感することの大切さとその努力を強調していたが、臨床家の基本として心に銘記すべき言葉であろう。

【翻訳】

描画法ワークブック

本章に提示した描画はすべて、心理的、身体

的、そして性的に虐待された子どもたちの描いたものである。最初の描画は7歳の女児が描いた6枚から成る一連の描画である。これらの描画は描画者が一定期間にわたっていかに苦悩を表現し続けるかを示すものである。また、すでに提示された指標に関する一定の象徴的意味についても明示している。

2番目の描画は指標の具体例である。各描画に関係する重要な指標の一覧を描画ごとに示した。また、描画者の年齢や性別、現在の問題及び全体印象についても記載した。

読者のための練習課題において提示した描画1から15は、描画者の年齢と性別の情報のみを記載した。これらの描画は、各描画者に固有の指標を特定する練習に使用することができる。この章の最後に各描画の指標の一覧を掲載したので読者自身の見方と照合していただきたい。描画の全体印象ないしは第一印象は主観的なものであり、読者の印象と著者の印象では異なる場合も考えられる。しかし、読者が特定した指標は客観的なものであり、リストアップされた指標と一致すべきである。これらは読者の第一印象を支持するか、もしくは否定するかのいずれかである。指標とその意味を認識することは基本的なステップである。

私は描画を見るとき、最初に私の注意をひく指標を記録するようにしている。そのあと「描画分析」や第4章の「指標分析」のステップとして示したチェックリストを用いて解釈をおこなう。

すべての描画は次の3つの教示から得られた結果である。

- 1) あなた自身の絵を描いてください。
- 2) 家（あるいは家と木）の絵を描いてください。
- 3) 木の絵を描いてください。

描画者によっては、「描きなさい」と言われた以上のものを描く場合もある。そのため、描画者が付加情報を提供することでサインを送っている描画についても掲載した。子どもに読者の指示したことをかたくなに強要するよりは、む

しろ子どもがわれわれに何を知らせたいかを心を開いて理解することの方が大切である。

6枚の描画

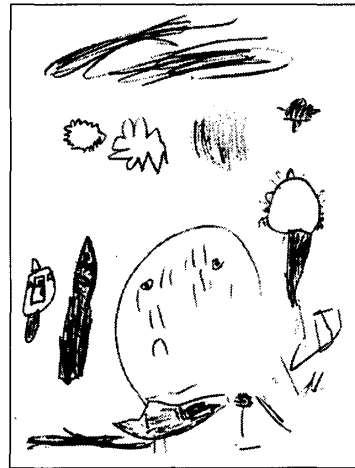
7歳の女兒が描いた一連の描画を例として提示する。それらは基本的には自画像であり、3ヶ月間の彼女の微妙な変化が示されている。たとえ描画や描かれた指標が異なっても、同一テーマの象徴的な意味がそこには繰り返し表現されている。彼女が治療に連れてこられた理由は、学校での極端な受身的態度や引きこもり、及びクラスメートと遊ばなくなったことである。3ヵ月後、心理的・身体的・性的虐待があったと判断するのに十分な根拠が認められた。このため父親には別居の措置が取られた。

シリーズ描画1



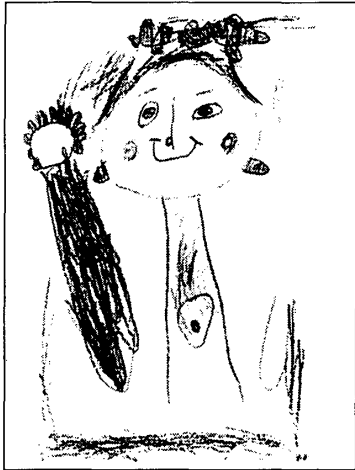
- ▶髪—多すぎる髪、誇張された髪
- ▶目—瞳がない目、左右の大きさが違う目、陰影のある目
- ▶耳—陰影のある耳、片方が大きい耳、片方が小さい耳
- ▶口—大きい口、への字口
- ▶頭—大きい頭
- ▶胸—肥大した胸、陰影部分がある胸
- ▶腕と手—腕と手の欠落（性的虐待を受けた子どもがよく描く）
- ▶脚—細い1本線の脚

シリーズ描画2



- ▶頭—非常に大きな頭
- ▶目—小さい目
- ▶耳—耳の欠落
- ▶口—への字口
- ▶胸—異様な形の胸、陰影部分がある胸
- ▶腕と手—腕と手の欠落
- ▶脚—細い1本線の脚
- ▶木—浮遊している木、用紙中央右寄りの木
- ▶幹—黒い幹、逆三角形の幹（不安定）
- ▶枝構造—閉じられた枝構造（自己を包囲する）
- ▶葉—閉じられた葉
- ▶根—根の欠落
- ▶家—バランスの悪い小さな2軒の家、地平線がない家、黒い家
- ▶ドア—ベースライン上方にあるドア、もう一方の家にはドアがない
- ▶屋根—小さい屋根、大きい屋根
- ▶窓—2階にある窓、形が同一でない窓、くさび形の窓
- ▶細部—黒い空、雲、黒い鳥、顔の涙

シリーズ描画3



- ▶頭—非常に大きい頭
- ▶髪—ボサボサの髪
- ▶胴—4歳児のような胴，陰影のある胴，黒い小さな円を囲む大きな円（性器のある部分への配置），閉じられていない胴
- ▶腕と手—腕と手の欠落
- ▶脚—細い1本線の脚，地平線に届かない脚
- ▶足—足の欠落
- ▶円—（顔や胴に描かれた）特異な円
- ▶木—浮遊している木，傾いている木
- ▶幹—陰影で黒く塗られた幹
- ▶葉—閉じられた葉
- ▶根—根の欠落
- ▶細部—陰影のある黒い雲
- ▶装飾品—イヤリング
- ▶雲

シリーズ描画4



- ▶頭—非常に大きい頭
- ▶目—瞳がない目

- ▶口—大きい口
- ▶顔—陰影のある顔
- ▶髪—多すぎる髪，誇張された髪
- ▶腕と手—腕と手の欠落
- ▶胴—陰影のある胴
- ▶装飾品—イヤリング，小さいネックレス，性器のある部分を隠す宝石のついた大きな黒いネックレス
- ▶靴—つま先立ちの靴，とがった靴，大きさの違う靴
- ▶木—浮遊している木
- ▶幹—黒い幹，下方がとがっている幹(不安定)
- ▶根—根の欠落
- ▶葉—閉じられた葉
- ▶細部—暗い空，陰影で黒く塗られた雲，たくさんの鳥

シリーズ描画5



- ▶木—小さい木，地平線のない木
- ▶根—根の欠落
- ▶葉—なぐり描きの葉，形態不全の樹冠，樹冠の極端な強調，混沌とした樹冠
- ▶細部—混沌，木を直撃する黒い大きな稲妻，大きな津波と暗い海
- ▶空—なぐり描きの空，暗い空，描画のほぼ4分の3を占める空

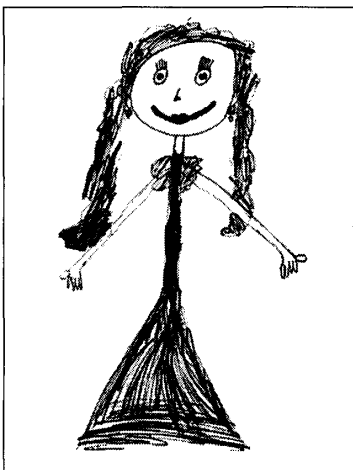
シリーズ描画 6



構造の組織的な変化が見られ始めた。

- ▶頭—大きい頭
- ▶髪—ボサボサの髪
- ▶目—瞳がない目
- ▶胴—黒い胴，小さい胴，箱のような形の胴
- ▶腕—広げた両腕，黒い腕
- ▶手—ミトンのような手
- ▶指—スパイクのような指
- ▶脚—長い脚，黒い脚
- ▶細部—雲，鳥，背の高い草
- ▶まつげ—大きなまつげ
- ▶空—人物の真上に描かれた黒い空

A 人物画 (描画者：8歳女児)



全体印象

誘惑，手を広げほほえむ大人びた少女。

指標

- ▶腕—広げた両腕 (接触を求めて広げている)

- ▶髪—長い髪，多すぎる髪，黒く塗られた髪(不安，抑えきれない衝動，身体的虐待，性的虐待)
- ▶頭—非常に大きな頭，胴の4分の1以上の頭(性的虐待，身体的虐待)
- ▶まつげ—派手なまつげ (女性らしさの強調)
- ▶口—大きな口 (口唇期性愛)
- ▶唇—キューピッドの弓のような形をした唇(性的関連性)
- ▶顔—仮面のような顔 (無感動，感情が隠されている)
- ▶胴—真っ黒な胴 (不安，性的関連性)
- ▶成熟—年上のように見せる (性的関連性)
- ▶装飾品—イヤリング (性的関連性)
- ▶足—足の欠落 (無力感，環境をコントロールできない，動けない)

トラウマ

6歳時に継父によって強姦される。

B 人物画 (描画者：7歳女児)



全体印象

愚かで，狂ったように見える人物。

指標

- ▶頭—非常に大きい頭(性的虐待，身体的虐待)
- ▶腕—広げた両腕 (接触欲求)，短い腕 (他者に触れるには不適切)
- ▶手—はっきりした形の手がない(「私の世話をしてください」，性的関連性)
- ▶閉じられていない胴—脚と脚の間の胴の部分

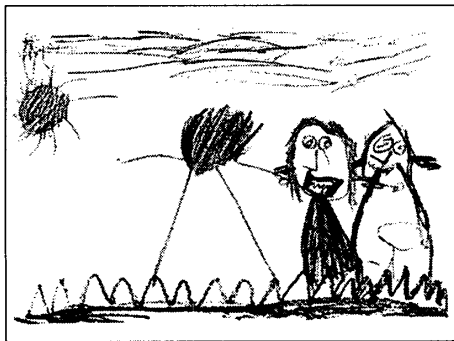
が閉じていない（無防備で傷つきやすい、無感情、臆病、性的関連性）

- ▶目—小さな目、瞳がない目（性的虐待の可能性）
- ▶顔—陰影のある顔（極度の不安、希薄な自己概念）
- ▶口—非常に大きい口（口唇期性愛）
- ▶歯—きばのような歯（攻撃性、敵意）
- ▶髪—ひどい縮れ毛（自己の考えにまつわる不安）
- ▶脚—1本線の脚（臆病、傷つきやすい）
- ▶足—足の欠落（無力感、歩けない）
- ▶陰影—胸部と性器のある部分（心配、不安、性的関連性）
- ▶雲—人物にかかっている雲（人物と関係のある不安）
- ▶装飾品—イヤリング（性的関連性）

トラウマ

2歳から4歳にかけての父親による性的虐待。

C 人物（描画者：6歳半女児）



全体印象

人物が見えにくい。自己像が4人の人間として描かれている。最も小さい人物が一番幼い。4人の人物それぞれに彼女は自分の感情を分離していると思われる。

指標

- ▶発達の不一致—（4歳児のような描画）
- ▶腕—3人には腕がない（環境をコントロールできない、衝動の制御を強く求めている、不適応、無力感、消極性、敵意あるいは性にまつわる罪悪感、性的関連性）、4歳児の

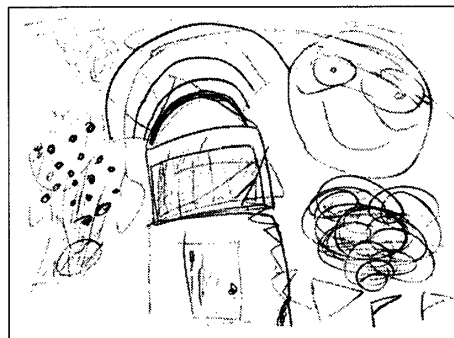
ような人物に描かれた腕（その年齢で発達が停止している可能性）

- ▶胴—3人には胴がない（身体欲求や感情の否認）
- ▶口—強調しすぎの口、大きい口（未熟、口唇攻撃、口唇期性愛）
- ▶鼻—2人の人物に描かれた大きくて黒い輪郭線の鼻（性的関連性）
- ▶歯—むき出しの鋭くとがった歯（攻撃的な行動化、怒り）
- ▶陰影—黒い胴（性的関連性）、黒い顔（低い自己概念、極度の不安）
- ▶脚—脚の欠落（無力感、歩くことができない、足が地に着いていない）
- ▶手—手の欠落（接触できない）
- ▶目—見開かれた大きな目（疑惑、不信感、危険に対する敏感さ）
- ▶雲—頭上を覆う黒みがかかった雲（強い不安感）
- ▶装飾品—イヤリング（性的関連性）

トラウマ

4歳時の父親による性的虐待。

D 家屋画（描画者：7歳半女児）



全体印象

混沌。

指標

- ▶大きな家—（攻撃性、敵意、過剰補償）
- ▶地平線—地平線の欠落（空中に浮いている）
- ▶ドア—強い筆致のなぐり描きと陰影のあるドア（他者を招き入れることにまつわる不安）、ベースライン上方のドア（対人接触不能、入れない）

- ▶窓—大きい窓, 横木がある家, 陰影がある窓, 2階の窓(秘密, 内部にある「もの」を覆い隠す, 引きこもっている, 接触できない)
- ▶煙突—大きすぎる煙突(過剰な性的関心及び/もしくは露出症傾向の可能性, 性的関連性)
- ▶煙—大きikutanaびく煙, 渦巻く煙(内的緊張, 性的関連性)
- ▶木—りんごの木(依存性)
- ▶幹—粗雑なタッチで描かれた輪郭線と樹幹内部, 手抜きタッチで描かれた樹幹(不安, 衝動, 不全感, 切迫した自我崩壊感)
- ▶樹冠—閉じられた樹冠(心に不安を抱えている)幹に向かって覆いかぶさるように垂れ下がる樹冠(空虚感, 人の言いなりになる)
- ▶節穴—陰影の薄い, 大きな節穴(損傷感, トラウマ), 下底から4分の1ほどの位置に描かれた節穴(2歳頃のトラウマ)
- ▶根—根の欠落(感情の抑圧)
- ▶2本目の木—樹幹の欠落(臆病, 自我の不健康感, 無力感)
- ▶樹冠—形態バランスの悪い, なぐり描きされた樹冠(衝動性, 思考と価値体系の混乱)
- ▶雲—陰影のある雲(頭から離れない不安)
- ▶細部—家の側面の装飾, 旗, 大きな顔の太陽, 家の上の虹(バランスの取れた構造の必要性)

トラウマ

2歳まで交流のあった父親による性的虐待。

E 樹木画 (描画者: 7歳半女兒)



全体印象

描画者と2本の木は浮遊しているが, しかし不安で暗く重い気分と, 怒りの感情が見られる。

指標

- ▶配置—用紙の上部半分に配置され, 空中に浮遊している(非現実的な目標あるいは期待にまつわる渴望), 地平線に立つ1本の木には根がない(不全感, 感情の抑圧)
- ▶陰影—真っ黒な描画(大きな不安, 動揺)
- ▶描線—黒く強化された描線(内的緊張, 攻撃性, 敵意, 強引)
- ▶木—りんごの木(依存性と未熟さ)
- ▶枝—葉の欠落(衝動性, 傲慢, 不定感), 長すぎる枝(接触要求にまつわる関心)
- ▶樹冠—閉じられた樹冠(外部の力が内部に及ばない, 自己と外部との接触を禁止する)
- ▶幹—過剰に強調された幹(情動の未熟さ), 真っ黒な幹(不安), 樹傷, 節穴(損傷感, トラウマ), 黒い節穴(経験にまつわる羞恥), 節穴の位置—幹の中央(4歳頃のトラウマ), 幅広の幹(感情支配的な生活)
- ▶人—真っ黒な人(大きな不安)
- ▶性器部分—性器のある部分を覆う黒い円(葛藤部分, 性的関連性)
- ▶腕—広げた両腕(接触欲求), サイズの違う腕(性的虐待の可能性), 真っ黒な腕(性衝動にまつわる罪悪感, 攻撃衝動)
- ▶手—大きな手と大きな指(行動化, 怒り)
- ▶胴—黒い胴(性的関連性, 怒り, 攻撃性, 敵意)
- ▶顔—黒い顔(極度の不安, 希薄な自己概念)
- ▶目—瞳がない目(性的関連性)
- ▶鼻—黒い鼻(性的関連性)
- ▶口—大きい口(口唇性性愛)
- ▶脚—細い脚(臆病, 傷つきやすさ)
- ▶髪—黒い髪(不安, 抑えきれない衝動)
- ▶装飾品—大きすぎるリボン(性的関連性)

トラウマ

4歳から6歳にかけてのオジによる性的な虐待。

読者のための練習課題

ここでは, 本書で概説した体系的なアプローチについて読者に練習の機会を提供したいと思う。ここには被虐待児によって描かれた15枚の

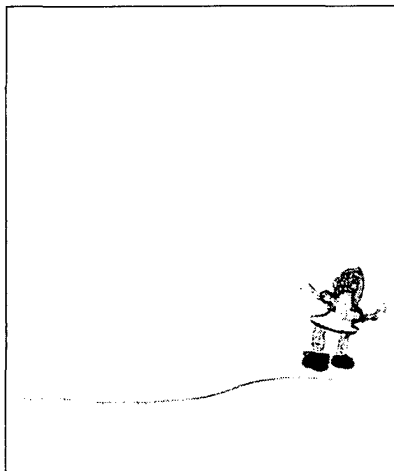
描画が示されている。それぞれの描画はトラウマを示唆するいろいろの指標を示している。これらの描画にはリストアップしたすべての指標が提示されているわけではないが、読者は重要な指標を特定する方法についてよいヒントを得ることができるだろう。

この練習を始めるにあたって、下記のステップを利用していただきたい。この練習法に習熟することによって読者は下記のステップを損なうことなく独自のアプローチを展開することができるようになるだろう。

- 1) まず第一印象及び/あるいは全体印象を記録していただきたい。
- 2) 特徴のある指標をリストアップしていただきたい。指標については4章：「指標分析」を見て解釈をメモしていただきたい。
- 3) 「描画分析」のチェックリストで点検していただきたい。さらに、苦悩のサインを示す指標について抜け落ちているものがないように、すべてその解釈と共にリストアップしていただきたい。
- 4) 各課題描画で読者の指摘した指標と、私が指摘した指標を比較点検していただきたい。

描画を分析するとき、読者自身が気付いたことを記録し、それぞれの分析対象である描画に添付しておくことが有用である。こうしておけば一連の描画を再点検するとき、二度手間をすることなくこれまでの記録を利用することができるだろう。

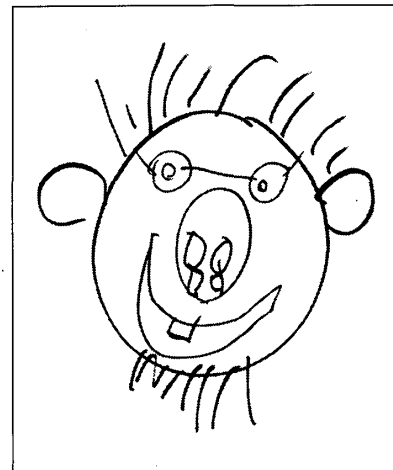
1 人物画 (描画者：7歳女兒)



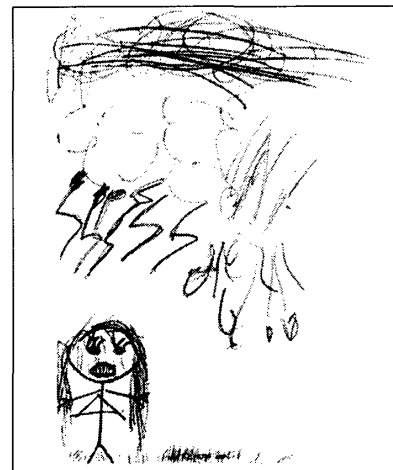
2 人物画 (描画者：8歳女兒)



3 人物画 (描画者：8歳男児)



4 人物画 (描画者：9歳女兒)



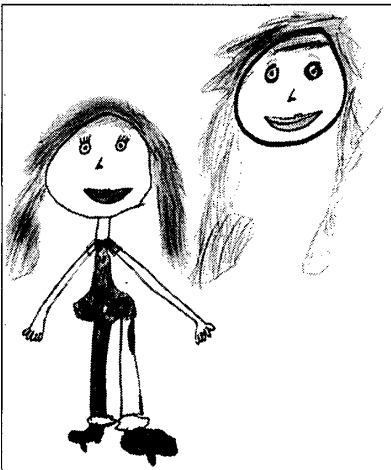
5 人物画 (描画者: 7歳女児)



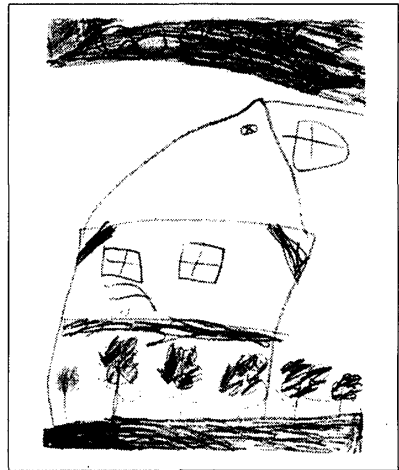
8 人物画 (描画者: 7歳女児)



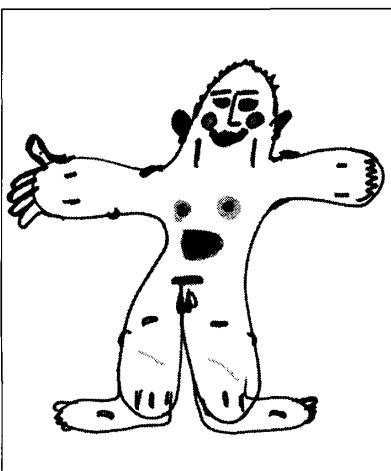
6 人物画 (描画者: 8歳女児)



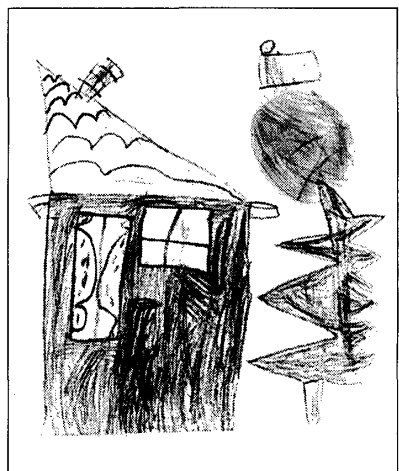
9 家屋画 (描画者: 7歳女児)



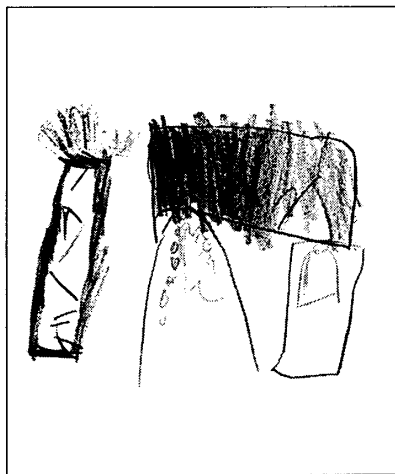
7 人物画 (描画者: 8歳男児)



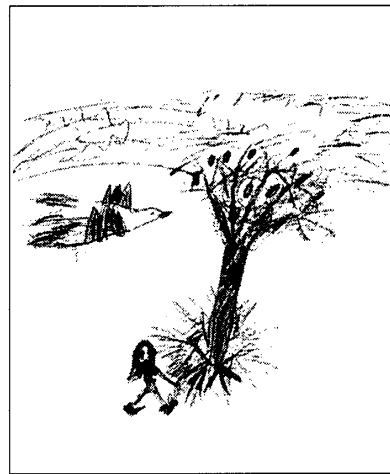
10 家屋画 (描画者: 7歳半女児)



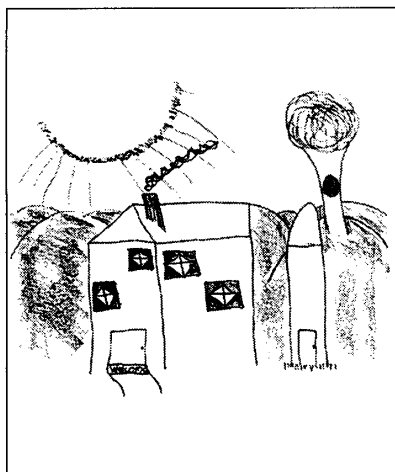
11 家屋画と樹木画 (描画者：6歳男児)



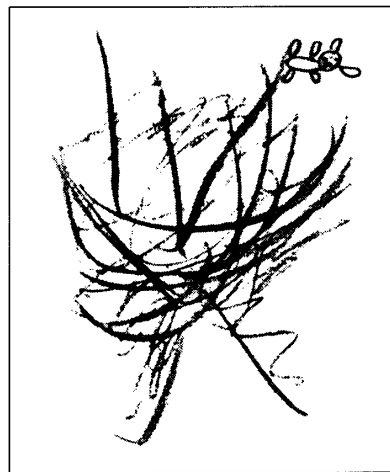
14 樹木画と人物画 (描画者：9歳女児)



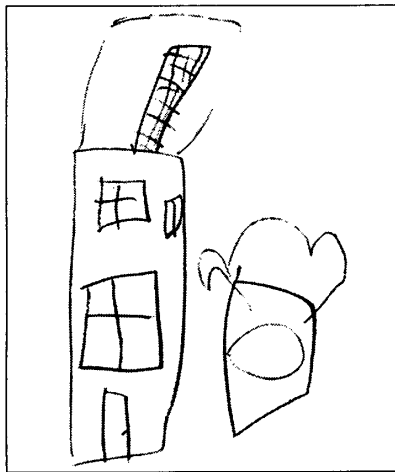
12 家屋画と樹木画 (描画者：12歳女児)



15 樹木画 (描画者：7歳女児)



13 家屋画と樹木画 (描画者：7歳男児)



描画1-15の指標のチェックリスト

1 人物画 (描画者：7歳女児)

- ✓サイズ—小さい人物
- ✓髪—多すぎる髪
- ✓顔—陰影のある顔
- ✓目—瞳がない目
- ✓口—非常に大きな口
- ✓腕—大きさが違う腕
- ✓手—非常に大きな腕
- ✓胴—陰影のある胴, 傾いている胴

- ✓脚—透明の脚，脚幅が広い
- ✓地面—人物と接触していない
- ✓細部—靴，非常に大きくて陰影のある靴，誇張されたまつげ

トラウマ

ペンキ職人による性的虐待。

2 人物画 (描画者：8歳女児)

- ✓目—瞳がない目，小さい目
- ✓口—大きい口
- ✓髪—頭頂部が薄い髪，サイドの長い髪
- ✓首—太い首，長い首
- ✓胸—黒い胸
- ✓透明—ズボンから透けて見える脚
- ✓脚—1本線の細い脚
- ✓腕—大きい腕，左右の長さが違う腕，広げられた腕
- ✓手—ミトンのような手
- ✓指—スパイクのような指
- ✓地面—スパイクのような草
- ✓雲—雨が降っている大きな雲
- ✓傘—手にさしているが体から離れている傘，持ち主を雨から守れない傘

トラウマ

父親による身体的虐待，そして予想される性的虐待。

3 人物画 (描画者：8歳男児)

- ✓頭のみ
- ✓髪—スパイクのような髪
- ✓耳—大きい耳
- ✓目—極端に小さい目，めがねの奥にある目，瞳のない目
- ✓鼻—大きい鼻
- ✓鼻孔—大きな鼻孔
- ✓口—大きく開いた口
- ✓歯—むき出しの歯
- ✓ひげ—スパイクのようなひげ

トラウマ

隣人による性的虐待。両親は薬物依存症のりハビリ中のため子どもを守ることができなかった。

4 人物画 (描画者：9歳女児)

- ✓頭—非常に大きな頭
- ✓口—大きい口
- ✓目—大きく見開かれた目，まつげまで描かれている目
- ✓歯—むき出しの歯
- ✓顔—陰影が薄く描かれている顔
- ✓胸—三角胸の棒人間
- ✓指—スパイクのような指
- ✓髪—頭頂部の薄い髪，サイドが長い髪，ボサボサの髪
- ✓草—スパイクのように生えている草，とがった草
- ✓脚—1本線の脚
- ✓足—足の欠落
- ✓雲—多種類の雲
- ✓空—黒い陰影のある空，稲妻が走る空

トラウマ

3歳から6歳までの父親による性的虐待。教室で攻撃的な行動のため落ち着くことができなかった。

5 人物画 (描画者：7歳女児)

- ✓髪—誇張された髪，ボサボサの髪，多すぎる髪
- ✓顔—陰影で覆われた顔
- ✓目—瞳がない目
- ✓口—大きい口
- ✓首—太くて長い髪，頭と繋がっていない首
- ✓胸—黒い胸
- ✓腕—左右でサイズが違う腕
- ✓手—手の欠落
- ✓脚—太さが違う脚，脚幅が広い
- ✓足—足の欠落
- ✓雲—大きい雲，乱れた雲，ギザギザの陰影で

囲まれている雲

トラウマ

5歳の時の父親による性的虐待及び身体的虐待。

6 人物画 (描画者：8歳女児)

- ✓年齢のずれ—描画者の年齢より大人びた表現
- ✓頭—非常に大きい頭
- ✓口—大きい口
- ✓唇—キューピッドの弓のような形の唇
- ✓髪—誇張された髪，サイドが長い髪，多すぎる髪
- ✓首—細く長い首
- ✓腕—長い腕，サイズが違う腕，広げられた両腕
- ✓脚—黒い脚
- ✓胴—黒い胴
- ✓地面がない
- ✓足—左右のサイズが違う足，片方が非常に大きい足
- ✓細部—性器のある部分を覆うドレスに描かれた真っ黒の花，まつげ
- ✓装飾品—指輪

トラウマ

6歳の時の継父による虐待。

7 人物画 (描画者：8歳男児)

- ✓目—瞳がない目
- ✓口—大きい口
- ✓唇—キューピッドの弓のような形の唇
- ✓耳—人目を引く耳，真っ黒な耳
- ✓手—はっきりした形のない両手
- ✓指—右手にある指，左手にはない
- ✓胸—2つの乳首が描かれている胸
- ✓腹—黒い円が描かれた腹
- ✓性器
- ✓足—大きい足
- ✓胴—傷がある胴

トラウマ

近所に住む年上のいじめっ子による性的虐待。

8 人物画 (描画者：7歳女児)

- ✓配置—寝袋に入って空中に浮かんでいるように見える，屋外にいるのか屋内にいるのか分からない
- ✓陰影—かなり乱雑ななぐり描きによる陰影
- ✓目—瞳がない目
- ✓胴—棒人間，最小人間
- ✓透明—寝袋の中の体が透けて見える，屋内にいるのか屋外にいるのか分からない，草の上に寝ているが家の窓は屋内から見える，混乱している
- ✓草—地面に接していない草
- ✓窓—黒い窓，黒いカーテンがかかっている窓
- ✓ドア—ドアの欠落
- ✓家—不完全な家
- ✓地面—地面に接していない家
- ✓壁—厚い壁
- ✓空—混沌とした空，なぐり描きされた黒い空

トラウマ

5歳の時の庭師による性的虐待。

9 家屋画 (描画者：7歳女児)

- ✓家—不完全な家
- ✓煙突—煙突の欠落
- ✓ドア—ドアの欠落
- ✓大きさ—非常に大きい家
- ✓屋根—大きい屋根
- ✓窓—2階の窓，横木がある窓，形が不統一な窓，屋根裏部屋のくさび形の窓
- ✓雲と地面—黒い雲と黒い地面
- ✓細部—誇張された花，大きくて黒い花，混沌とした黒い空，防壁になっている花

トラウマ

4歳頃のデイ・スクールの助手による性的虐待。

10 家屋画 (描画者：7歳半女児)

- ✓配置—描画用紙の底辺への配置
- ✓大きい
- ✓陰影—家の下半分に陰影，ドアの陰影（ドアが分かりにくい），木の陰影，木の上の太陽に見られる陰影
- ✓窓—カーテンのある窓，横木のある窓，形が不統一な窓
- ✓屋根—非常に大きな窓，いびつな形の屋根
- ✓煙突—大きすぎる煙突，煙の見えない煙突
- ✓ドア—地面に接しているドア，輪郭がはっきりしないドア，ドアノブがドアと壁に半分ずつついている
- ✓木—クリスマスツリーのような形の木
- ✓幹—根がなく地面に接していない幹
- ✓樹冠—輪郭が強調された樹冠
- ✓雨どい
- ✓人物—太陽の上の箱に閉じ込められている人物

トラウマ

薬物依存症の両親による身体的虐待及び心理的虐待。

11 家屋画と樹木画 (描画者：6歳男児)

- ✓年齢のずれ—未成熟
- ✓家—不完全な家
- ✓ベースライン—地面の欠落
- ✓屋根—黒い屋根
- ✓ドア—大きいドア，飾りはあるがドアノブがないドア
- ✓窓—弱い描線の窓
- ✓幹—がっしりとして太い幹，誇張された幹，樹傷のある幹
- ✓根—根の欠落
- ✓木—傾いている木
- ✓樹冠—小さくて閉じられた樹冠，陰影のある樹冠

トラウマ

3歳から5歳までの継父による性的虐待。

12 家屋画と樹木画 (描画者：12歳女児)

- ✓窓—横木とカーテンのある窓，窓はすべて2階以上にある
- ✓煙突—黒い煙突
- ✓ベースライン—ベースラインの欠落
- ✓ドア—ベースラインより上にある階段のないドア
- ✓小さな家—窓がない家，煙突がない家，背が高く細い家，家の下にはスパイクのように草が生えている
- ✓幹—がっしりとした幹
- ✓節穴—大きくて真っ黒で幹の中央に配置されている節穴（6歳時のトラウマ）
- ✓樹冠—閉じられた樹冠，混乱した描線の樹冠
- ✓根—根の欠落
- ✓丘—薄黒い丘

トラウマ

養女になった2歳から6歳の間に連続して複数の男性から受けた性的虐待。生後8ヶ月から里親暮らしを転々とした。母親と父親は分からない。

13 家屋画と樹木画 (描画者：7歳男児)

- ✓非常に大きな家
- ✓窓—窓はすべて2階以上にある，横木がある窓，形態が不統一の窓
- ✓煙突—大きすぎる煙突
- ✓屋根—不完全構造の屋根，いびつな屋根
- ✓木—傾きのある根元，バランスの悪い木
- ✓樹冠—閉じられた樹冠，1本線で描かれた円環状の樹冠
- ✓幹—非常に太い幹，大きな節穴のある幹
- ✓根—根の欠落
- ✓地平線がない
- ✓ドアノブ—ドアノブの欠落

トラウマ

薬物依存症の母親による性的虐待の可能性。

14 樹木画と人物画 (描画者：9歳女児)

- ✓陰影—黒い木, 黒い人間
- ✓幹—真っ黒な節穴, 根元から4分の3上方にある節穴 (7歳時のトラウマ)
- ✓傾いている木
- ✓りんごの木
- ✓樹冠—なぐり描きされた形の悪い樹冠
- ✓枝構造—大きな枝
- ✓根—大きく目立つ根
- ✓幹を取り巻く草むらと茂み—黒い草むらと茂み, スパイクのように茂っている
- ✓髪—真っ黒な髪, 大きい髪, 誇張された髪
- ✓顔—顔の特徴がない
- ✓腕—真っ黒な腕, 長い腕, 左右のバランスが取れていない腕
- ✓手—非常に大きい手, スパイクのような指
- ✓首—太くて長い首
- ✓胴—黒い胴
- ✓ズボン—陰影の濃いズボン
- ✓鳥—非常に大きな鳥, 羽と尾が黒い
- ✓雲

- ✓空—陰影のある空, なぐり描きの空
- ✓細部—靴と靴紐

トラウマ

7歳の時の母親のボーイフレンドによる性的虐待。

15 樹木画 (描画者：7歳女児)

- ✓年齢のずれ—未成熟
- ✓枝—大きすぎる枝
- ✓樹冠—なぐり描きの樹冠, 混乱した描線の樹冠
- ✓地面がない
- ✓根—根の欠落
- ✓木全体—2本線で構成される幹と樹冠としての大きな枝を持っている木, しかしほとんど木と認識しがたい
- ✓幹—裾広がりの2本線の幹

トラウマ

母親に遺棄された7歳の女児。